

## マレーシア工科大学代表团との教育研究交流会及び茨城学生国際会議を開催

新型コロナ禍で一時は停滞した国際交流が再開されつつあります。

人文社会科学部は、11月29日（水）、マレーシア工科大学代表团（教員2名、学生22名）の本学部訪問にあわせて、それぞれの学生が研究発表を行う「教育研究交流会」を開催しました。

交流会は本学部の葉倩瑋教授の司会進行により和やかに進められ、原口弥生学部長及びマレーシア工科大学 Nor Zafir Md Salleh 経営学部副学部長の挨拶に始まり、それぞれの大学・学部紹介が行われました。

その後、マレーシア工科大学の学生2グループ及び本学部学生1グループが、研究成果についてプレゼンテーションを行いました。英語での報告に緊張しつつも、それぞれのチームが独自の視点から仮説に基づく実証研究、研究に基づく実践や企業への提言を含めた研究成果が報告され、3報告とも質疑応答も含めて充実した内容でした。

続いて、法律経済学科で管理会計学を専門とする豊崎仁美講師による研究紹介や共同研究の提案については、マレーシア工科大学の教員・学生からの関心も高く、質問が投げかけられていました。全学教育機構の池田庸子教授の挨拶にて、閉会となりました。農学部・阿見キャンパスからも、AIMS<sup>※1</sup> 留学生6名の参加があり、マレーシア工科大学と茨城大学学生をつなぐ、大切な役割を担ってくれたことで、交流が一気に進んだ1日でした。

今回の交流会は「茨城学生国際会議」にも位置付けられており、進行を含め全体を通して英語で行いました。

※1 茨城大学は2013年度から、東南アジア地域の留学促進プログラムである「AIMS」に加盟（文部科学省が国内11大学を選定）しています。



写真1：茨城大学生のプレゼンテーション風景





写真2：マレーシア工科大学代表团との集合写真

